

DaVinci Pro



取扱い説明書

目次

DaVinci Pro 本体と付属品	4-5
DaVinci Pro の設定	6
DaVinci Pro の使い方	7-11
ダビンチモード概説	12
ライブモード（読書器）を使う	13-22
DaVinci Pro コントローラーの使い方	23-28
OCR/Text-To-Speech モード	29-31
DaVinci Pro システムメニュー概説	32-33
ユーザー設定メニュー	34-37
製品設定	38-40
工場初期設定	40
ライブラリーメニュー	41-44
保存とダウンロード	45
画像消去	46
ヘルプメニュー	47
電源状態	48
トラブルシューティング、仕様、保証	49-51

安全にお使い頂く為に

安全を保証し、上手に DaVinci Pro を使用するには、これらの事柄を覚えておいて下さい。

DaVinci Pro はテキストを拡大し、色を変えることが出来、読み込んだ内容を音声で読み上げることで、生活の手助けが出来ます。この製品が、見たい物をスムーズに見るには、機器の使い方をマスターする必要があります。

DaVinci Pro は、正しい位置に合わせて読込をしないと認識出来ないことがあります。読込をするときには、プラスチックのガイド板をお使い下さい。

使用する為の注意点

不安定なテーブル、カート等に置くと本体が不安定になり落ちて壊れる原因になりますので、しっかりとしたテーブルに置いて下さい。

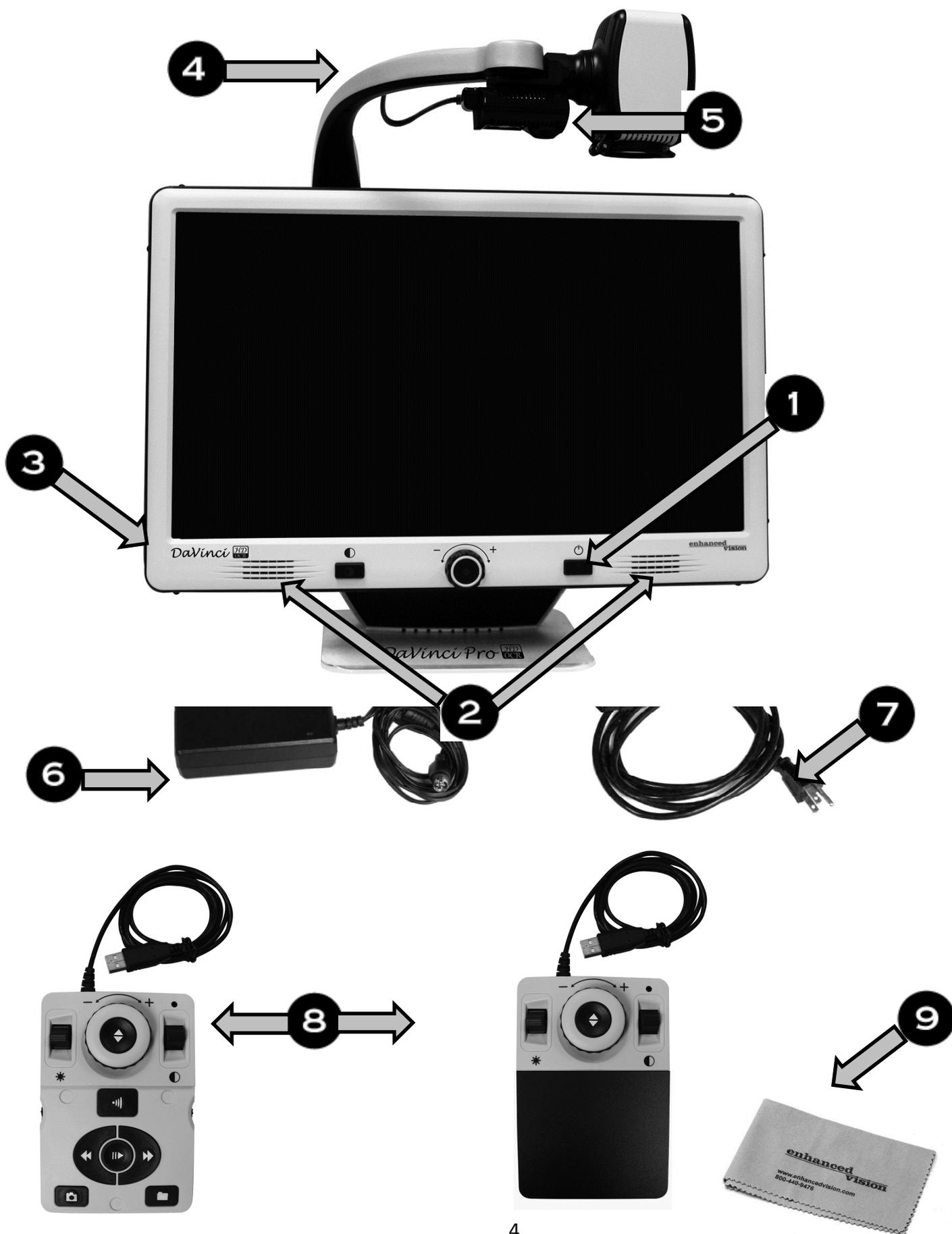
DaVinci Pro を使用する場合には屋内で使って下さい。温度または湿度の極端なまたは急速な変化にによって、結露する可能性がありますので屋内であってもご注意ください。

DaVinci Pro を数時間、直射日光に当てないようにして下さい。

週に一度はモニター及びカメラレンズを柔らかい乾燥している布切れ等で綺麗に拭いて下さい。

可燃性の素材または液体の近くに置かないで下さい。故障の原因となります。

DaVinci Pro の各名称と付属品



パッケージ内容

まずは中身を確認して下さい。

1. 電源ボタン
2. スピーカー（2個）
3. ヘッドフォン用 3.5 ミリ ジャック
4. カメラ アーム
5. カメラアーム LED ボタン
6. 19V パワーサプライ
7. 電源コード（電源コードのスタイルは国によって違います。）

含まれている付属品

8. コントローラー & コントローラーカバー
9. レンズ拭き用布

注意：ヘッドフォンをご使用時には、本体スピーカーからは音は出ません。

DaVinci Pro の設定

1. DaVinci Pro をテーブル又は机のような平坦で水平な表面の上に置きます。モニター後ろの取っ手部分を握り持ち上げます。カメラアームを持って DaVinci Pro を持ち上げないでください。そっとテーブル又は机のうえに置いて下さい (図 1 参照)

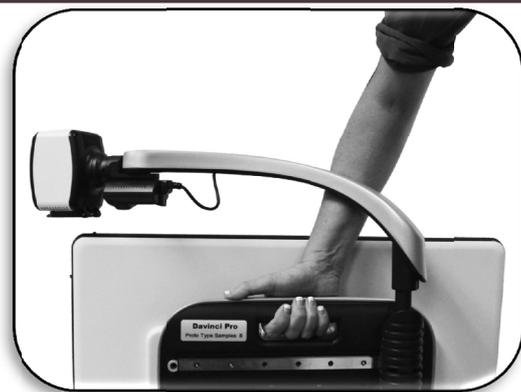


図 1

2. コントローラーコードを DaVinci Pro の後側の 2 つの USB ポートのどちらかに接続します (図 4 のリアパネルコネクション参照)。

3. 電源コードをパワーサプライ (図 2 のパワーサプライを参照) に差し込みます。電源コードを空いたコンセントに差しこみます。 (図 3 参照)
パワーサプライのもう一つの側を DaVinci Pro の “+19VDC” (これも図 4 のリアパネルコネクションを参照) と表示された所につないでください。



図 2

4. 電源ボタンを 1 度押して電源を入れます。DaVinci Pro のロゴが出て、続いて始まりを告げるメッセージと共に スタートアップのチャイムになります。その後画像が現れ、「ライブモード (拡大読書器モード)」が始まります。電源が入った状態で電源ボタンを押すとスリープモードに入ります。(本体の電源は入ったままです) もう一度押すと画面が点きます。
・ “Find” と電源ボタンを押して ダヴィンチをリセットします。電源を切る時は、電源ボタンを 5 秒以上押すと切ることができます。



図 3

5. 重要: DaVinci Pro を長くお使いいただくためには、完全にシャットダウンして、壁の差し込みからコードを抜いて下さい。電源ボタンを 5 秒長押ししてシャットダウンします。10 秒たって状態 LED 表示が消えて終了します。



DaVinci Proの使い方

DaVinci Proは、各種のモードにおいて作動するCCTV&OCR製品である。ユニットは、モニタ、カメラ、およびメカニカルな部品から成る。

OCR&CCTVカメラは固定のまま使用するか、傾けて使用することが出来る。

DaVinci Proは、モードを選ぶことができ、好みに合わせてカスタマイズすることができる。

どの設定があなたに適切であるかを発見し、より良い使い方を覚えて下さい。

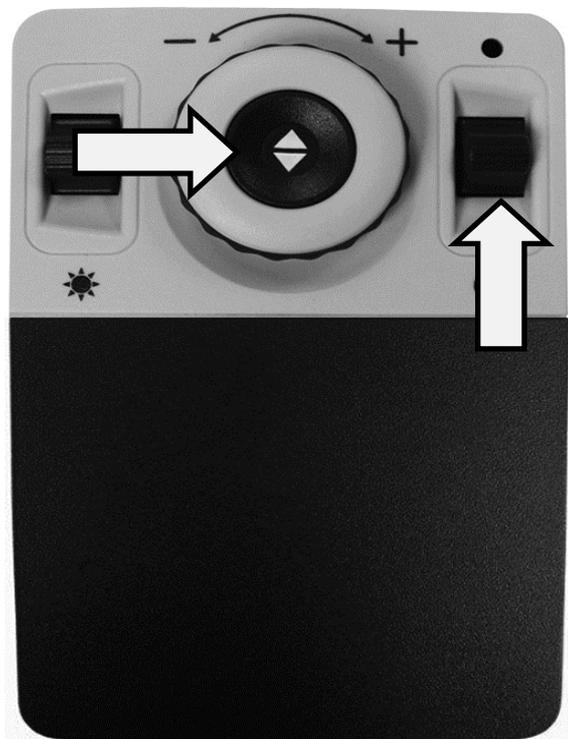
初めに本体右下にあるパワーボタンを一度、押して下さい。起動までに少し時間がかかりますが、ブープ音の後にモニターに画面が表示されます。

本体下にある操作ボタンとコントローラーにあるボタンを使って、様々な機能をお使い下さい。

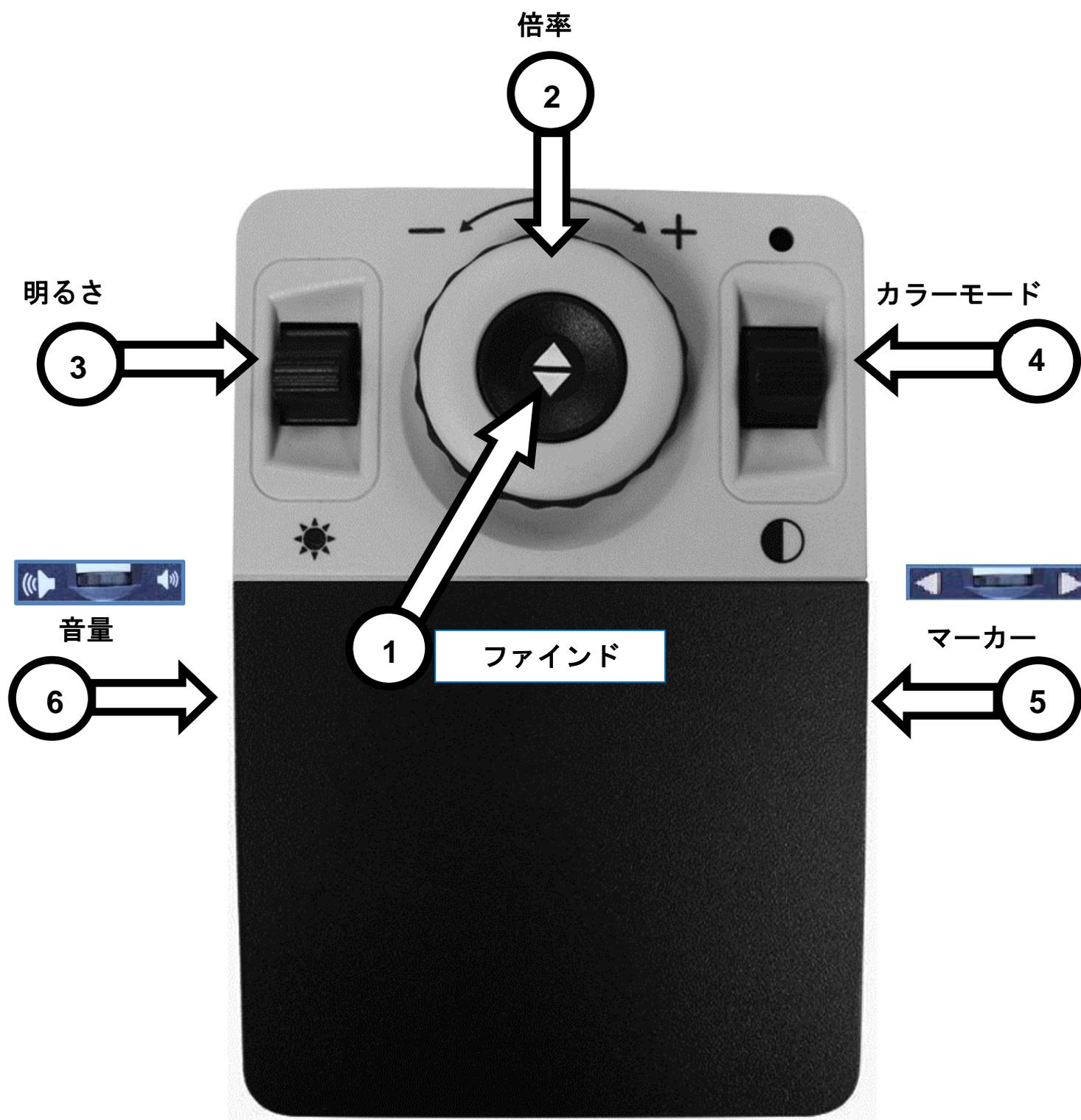
本体にあるボタンとコントローラーにあるボタンは、同じ様に使う事ができるものもあります。

操作ボタン組み合わせ

DaVinci Proのいくつかの機能がコントローラーのボタンの組み合わせを通じてアクセスされる。ユーザーマニュアルにわたって、これらの『ボタン組み合わせ』の参照がある（例えば、「[上がるボタン]と[FINDボタン]を押して下さい）。これは、ボタンが一緒に押すことで機能が表示されることを示しています。



コントローラーのカバーを付けた状態



コントローラーのカバーを付けた状態のボタン

1. **ファインド** – “長押しして倍率を最小にします。

ボタンを離すと前の倍率に戻ります。

高倍率で探すのが困難な対象をこの“ファインド”機能で見つけやすくします。

2. **倍率** – 時計/反時計回りに回して倍率を拡大/縮小します。

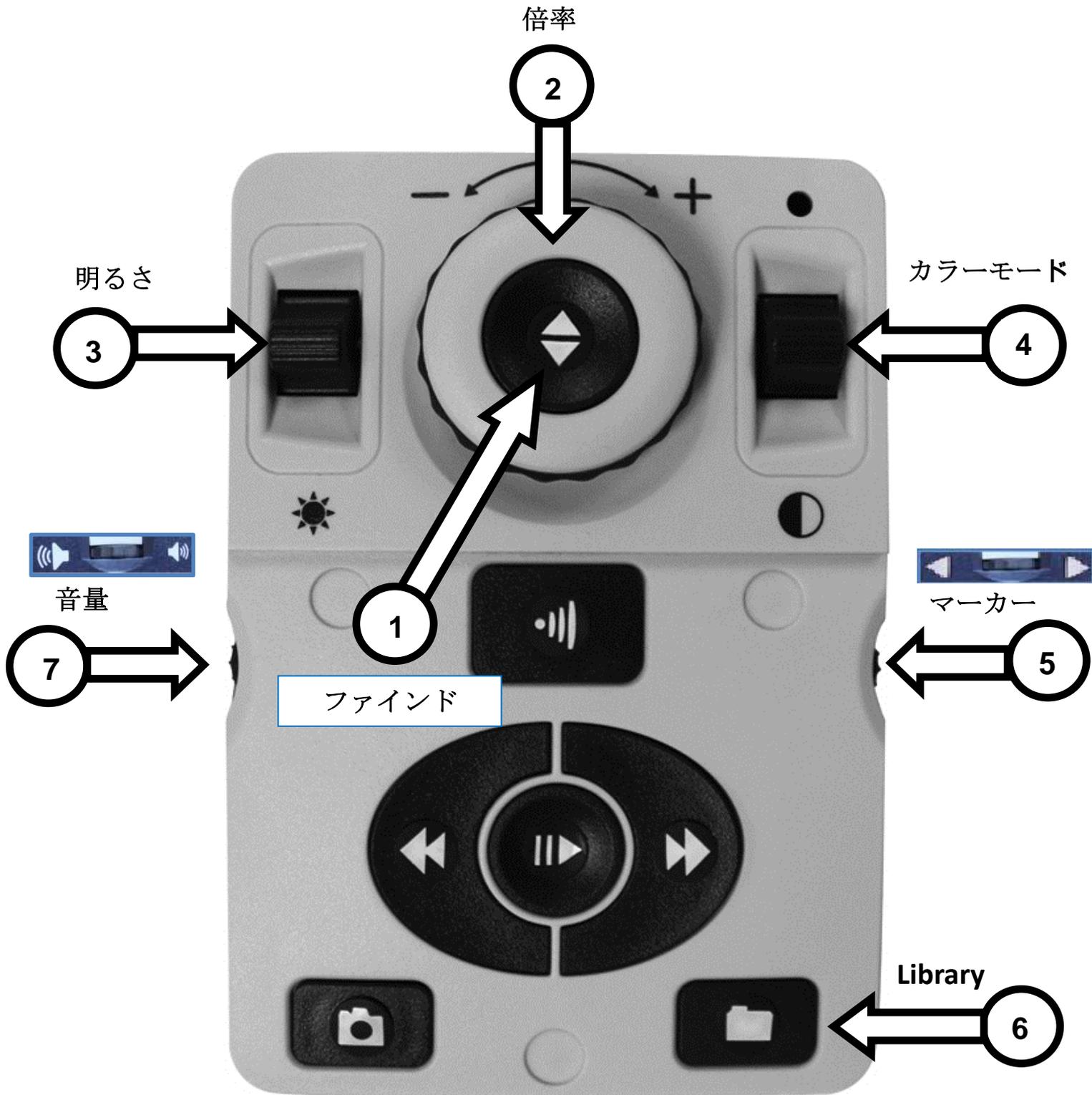
3. **明るさ** – 上下に押しして明るさの大きさを調節します。

4. **カラーモード** – モードを上下に押しして設定されているカラーを順に表示します。

5. **マーカー** – ライブモード時、ダイヤルを上下に回しラインマーカーとマスキングを使えるようにします(メニューでできない時)。

6. **音量** – 回して音量を上げ下げします。

コントローラーのカバーを外した状態のボタン



コントローラーのカバーを外した状態のボタン説明

1. **ファインド** – 長押しして倍率を最小にします。

ボタンを離すと前の倍率に戻ります。

高倍率で探すのが困難な対象をこの“ファインド”機能で見つけやすくします。

2. **ズームダイヤル** – 時計/反時計回りに回して倍率を拡大/縮小します。

3. **明るさ** – 上下に押しして明るさの大きさを調節します。

4. **カラーモード** – モードを上下に押しして カラービューイングモードをトグルします。

5. **マーカー** – ライブモード時、ダイヤルを上下に回しラインマーカーとマスキングを使えるようにします(メニューでできない時)。

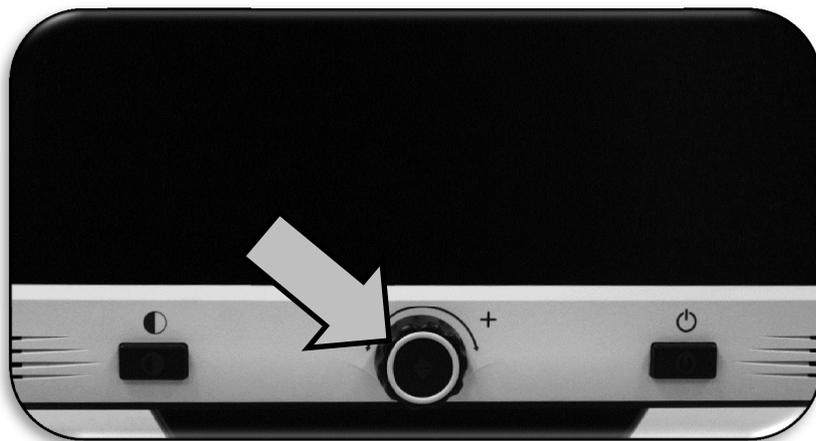
6. **Library**– ライブラリーを 2 秒長押しします。ズームダイヤルで操作し、決定はファインドボタンを押して下さい。終了の場合には、「EXIT」を選択しファインドを押してライブモードに戻ります。

7. **音量** – 回してシステム音量を上げ下げします。

ダビンチモード概要

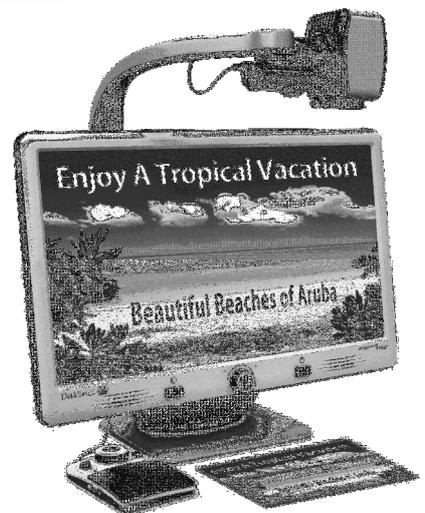
モード

DaVinci Pro には 2 つの主モードがあります。フロントパネルの中央ボタン CCTV/OCR をトグルして操作します(下図参照)。



ライブモード

ライブモードは初期設定モードで、電源を入れるとすぐに表示します。



OCR モード

OCR モードは自動的に文書を OCR 用にスキャンして読書を助け (文字認識)、TTS エンジン (テキスト読み上げ) で文書を読み上げます。



ライブモード

液晶モニター

ダヴィンチの液晶モニターは、台に固定されていますが画面の角度を調整し見やすい位置に変更することができます。



DaVinci Proは、最もよい角度に変更出来るよう画面を傾けることが出来るようになっていました。

デスクトップモード

カメラを下に向けることで、読書、筆記、また手作業や他の趣味に使えます。又教室での使用に最適です。カメラを下向きに回すと 画面

“Desktop” とアナウンスされます。ダヴィンチは左右にも動かすことができます。対象物がカメラから約 30 c m- 50 c m程離れている時は、倍率レンズを閉じたほうがより鮮明に見えます。



遠方視モード

カメラを前方に回転させて人や対象物、景色をとらえることができます。このアングルに変わった時、“遠距離”とアナウンスされます。遠くを見る時は、倍率レンズを開いてください。（倍率レンズを開けるを参照 下記画像）



この距離モードで 先の対象物を拡大して見ることができます。このモードで、無限の距離の対象物を見ることが可能ですが、カメラから約2m－10mの距離が一番見やすいです。



自己視モード

カメラを手前に向けると、全身を写す鏡の代わりにになります。このアングルに変わると画面の右上コーナーに“セルフ”の文字が表示されます。このポジションでは、ダヴィンチを使ってメイク、髭剃り等ができます。倍率レンズを使って自分からカメラを約20cm-50cm程度離してお使いください。



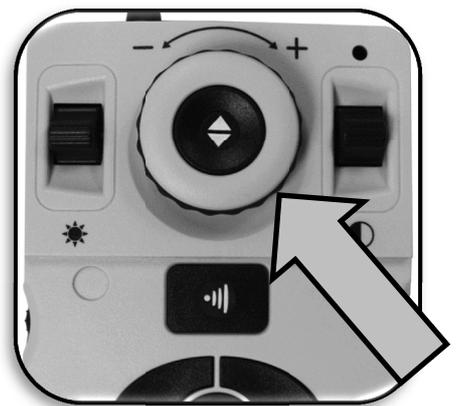
倍率調節

DaVinci Pro は幅広い倍率への拡大が可能です。以下の手順に従ってフロントパネル、又はコントローラーから操作して下さい。

フロントパネル/コントローラーの倍率ダイヤルを好きな倍率になるまで回して下さい。時計回りに回すと倍率が大きくなり、逆向きに回すと小さくなります。

倍率は画面右上のコーナーに表示されます。(デスクトップモード時のみ)
最高倍率と最低倍率時にインジケータが表示します。最高倍率は 製品設定メニューの下の “拡大倍率レベル” 設定でより大きくすることができます。

注：拡大の範囲はカメラの対象物への距離に依存する。



カラーモードの変更

DaVinci Pro はテキストと背景色の色を変えることができます。フロントパネルの [モード] ボタンを押すか、コントローラーの [モード上/下] ボタンを押してフルカラー、白黒、白黒強調、白黒反転、そして任意5つのモードを一巡します。この5つのカラーモードは28のカラー選択から好きに選ぶことができます

カラーモードの調整

フロントパネルの「モード」又はコントローラーの「モードアップ/ダウン」押してカラーモードを選択します。
押し続けると選んだモードを一巡します。

カラーモード

フルカラー画像

拡大した画像のそのままの色を表示

白黒画像

拡大した画像を白黒表示

白黒強調画像

白地に黒文字モード。コントラストが強くくっきりとして読みやすい。

白黒反転画像

黒地に白文字モード。コントラストが強くくっきりとして読みやすい。

初期設定カラー選択 1

黒地に緑文字。これは最も一般的に使われるコンビネーションです。これを28色のオプションから選んで変えたい時は36ページにある手順に従ってください。

初期設定カラー選択 2

黒地に黄文字。これを28色のオプションから選んで変えたい時は36ページにある手順に従ってください。

初期設定カラー選択 3

黄地に青文字。これを28色のオプションから選んで変えたい時は36ページにある手順に従ってください。

任意のカラー選択 4

初期設定ではオフ。2 ページを参照に このカラーモードをオンにして下さい。

任意のカラー選択 5

工場初期設定ではオフ。2 ページを参照に このカラーモードをオンにして下さい。

ラインマーカーとマスキングを有効にする (ライブモードのみ)

1. ライブモードでラインマーカーとマスキングをオン/オフできます。
2. ラインマーカーとマスキング有効時、次のラインマーカーとマスキングが次のように現れます。
3. コントローラーの “[モードアップ] と [ファインド/エンター]” のボタンでメニューを開きます。次に 「ユーザー設定」 → 「ディスプレイ」 を選びます。
4. “ラインマーカー” と “マスキング” が出てくるので好きな方を [ファインド/エンター] で選びます。
5. サブメニューで次のオプションが現れます。
水平(Horizontal) & 垂直(Vertical)
6. 黒マスはその機能が使えること、白マスはその機能が使えないことを表し、ダイヤルを回した時に黒マスの方は表示され、白マスの方は表示されません。
7. 任意で ラインマーカーとマスキングを有効、無効に出来ます。

ラインマーカーとマスキングを一巡：

コントローラーの右側の [Marker Wheel] でマーカーオプションをトグルできます。



マーカーダイヤル

ラインマーカーとマスキングの位置を調節

マーカーの位置を調節します（もし既にマーカーが有効になっていたら1と2は飛ばして下さい）。

1. コントローラーの “[ファインド/エンター]” と [カラーモード]” を押してメニューを開きます。
2. そしてメニュー → ユーザー設定 → ディスプレイ と開き任意の “マーカーセッティング” が選ばれている事を確認します。コントローラーの [ファインド/エンター] ボタンを押して任意のオプションを選択します。
3. ライブモードに戻りコントローラー右側のスクロールダイヤルで任意のマーカーを選択します。
4. コントローラーの右側ボタンと同時に明るさボタンを上下にしてラインマーカーやマスキングの位置を調節します。（ショートカットは下記参照）

リモコンショートカットでマーカー/マスキング位置調節

[マーカーダイヤル] を長押しし
[明るさ]” を押す



ラインマーカー間や マスキングのサイズの調節:

マーカーのサイズを調節する時（もしマーカーが有効になっていたら1と2は飛ばして下さい。）

1. コントローラーの “[ファインド/エンター]” と [カラーモード]” を押してメニューを開きます。
2. そしてメニュー → ユーザー設定 → ディスプレイ と開き任意の “マーカーセッティング” が選ばれている事を確認します。コントローラーの [ファインド/エンター] ボタンを押して任意のオプションを選択します。
3. ライブモードに戻りコントローラー右側のスクロールダイヤルで任意のマーカーを選択します。

4. コントローラーの右側ボタンを押すのと同時に倍率ダイヤルを反/時計回りに回してラインマーカ―やマスキングのサイズを調節します（ショートカットは下記を参照）。

リモコンショートカットでラインマーカ―/マスキングサイズを調節

[マーカ―ダイヤル] を押しなが
ら [倍率]” を回す



コントローラー [音量ダイヤル]（コントローラーの左端）で、OCR 読み上げ中の音量を大きくしたり小さくしたりします。

1. システムメニューの音声→音量からも調節出来ます。



音量ダイヤル

明るさ調節

1. 明るさはライブモード又は OCR モードでも コントローラーの明るさダイヤルで調整出来ます。
2. システムメニューのディスプレイ→明るさからも調節出来ます。



VGA トグル

DaVinci Pro の後方に VGA ポートがあり、コンピューターやタブレットのシグナルをダヴィンチの画面に繋がります。このポートは DaVinci Pro の画面 (追加の周辺機器が必要かもしれない) をコンピューターモニターとして使えるようにするので場所を取りません。

1、カメラ画像からコンピューター画像に変更する時は、まず DaVinci Pro の図 14 の VGA ポートにコンピューターが接続されていることを確かめてから、コントローラーの「ファインド/エンター」ボタンと「ポーズ/プレイ」ボタンを押します。

2、コンピューター画像からカメラ画像に戻す時は、ダヴィンチのコントローラーの「ファインド/エンター」ボタンと「ポーズ/プレイ」ボタンを再び押します。

3、DaVinci Pro の画面をコンピューターモニターとして使用している時、カメラのコントローラー (例:倍率、モード、マーカー) は使用することができません。

4、DaVinci Pro をコンピューターとして使用するのは、普通のコンピューターモニターをコンピューターに接続したり、ノートパソコンにもう一つモニターをつなげるのとほとんど同じです。お使いのコンピューター又は、ノートパソコンの取扱説明書を参考にしてください
ダヴィンチ HD は 1920 x 1080 の解像度にまで対応しています



リモコンショートカットで VGA に切り替える

[ポーズ/プレイ] を長押しして
[ファインド/エンター]” を押



コントローラーの使い方

コントローラーに付いているカバーは、DaVinci Pro を使うために必要である。

DaVinci Pro コントローラー

DaVinci Pro のコントローラーは2つのコントローラー方法“ベーシック”と“アドバンス”をカバーを取ったり付けたりするだけで使い分けられます。

DaVinci Pro は違いを感じ、ボタンやその特徴も一緒に変わります。初心者には簡単な方をお勧めしています。慣れてきたらアドバンスコントローラーに移って下さい。

コントローラーカバーを取る：

ベーシックモード中いつでもカバーを取ってアドバンスコントローラーが出来ます。

コントローラーカバーを付ける：

アドバンスコントローラーからベーシックに戻りたい時は カバーを付けます。



ベーシック制御

DaVinci Pro のコントローラーカバーを付けて、簡単な操作をお楽しみいただけます(右図“ベーシック”参照)。OCR ボタン操作は必要不可欠な機能、例えば文書のスキャンが簡単にできます。もしすぐに読み始めたければ、コントローラーのカバーを付けて、倍率ダイヤルの中心を押して始め、もう一度押して終了します。

* 簡単制御では他の設定やアドバンスなオプションは実行できません。

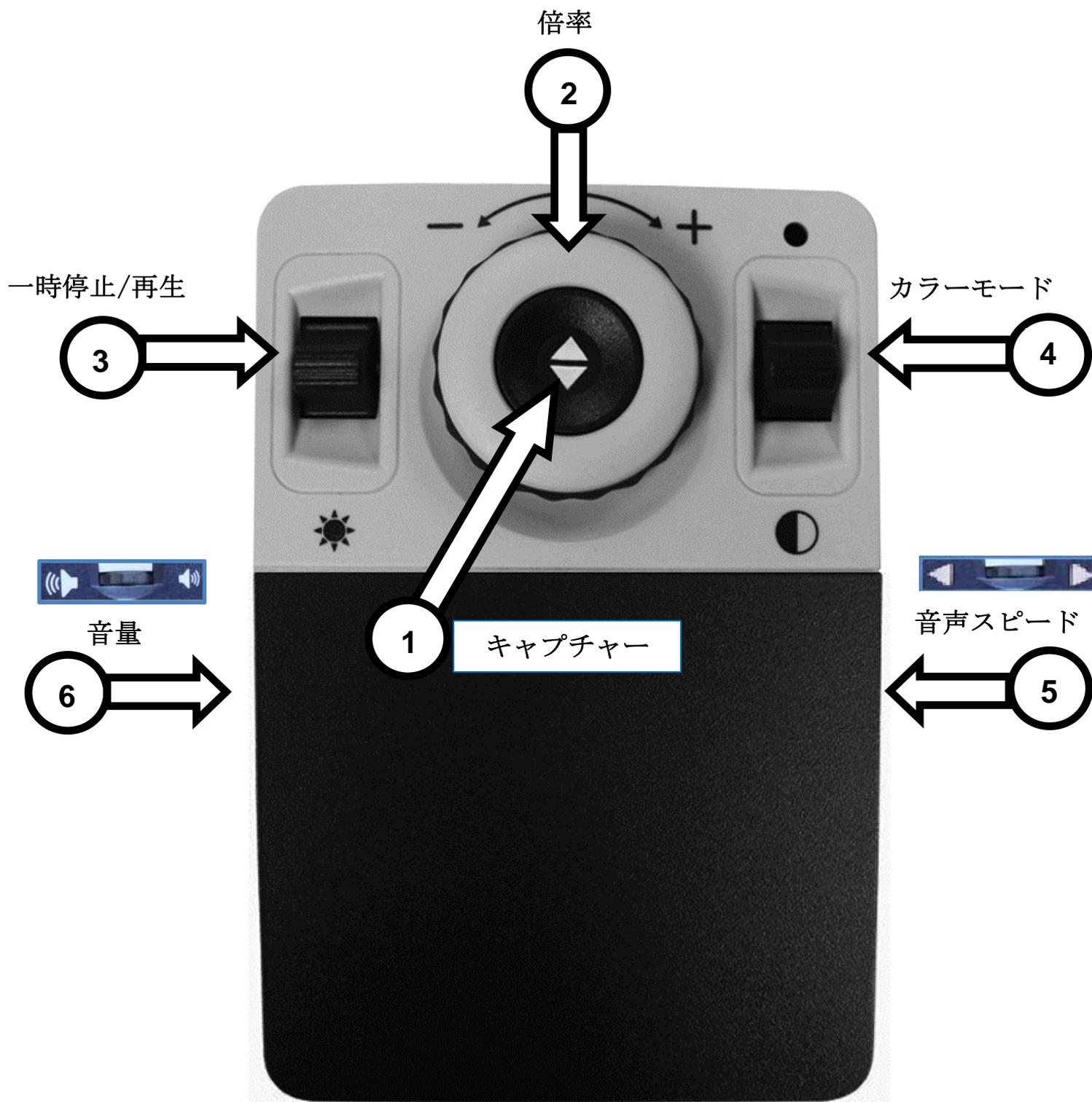
アドバンス制御

ベーシックコントローラー設定を使いこなせるようになったら少しずつアドバンスな機能も試してみましょう。

コントローラーカバーを取ります(“アドバンス”右図参照)。機能は、保存、確認、ラインマーカなどです。詳しくはそれらの箇所をご覧ください。



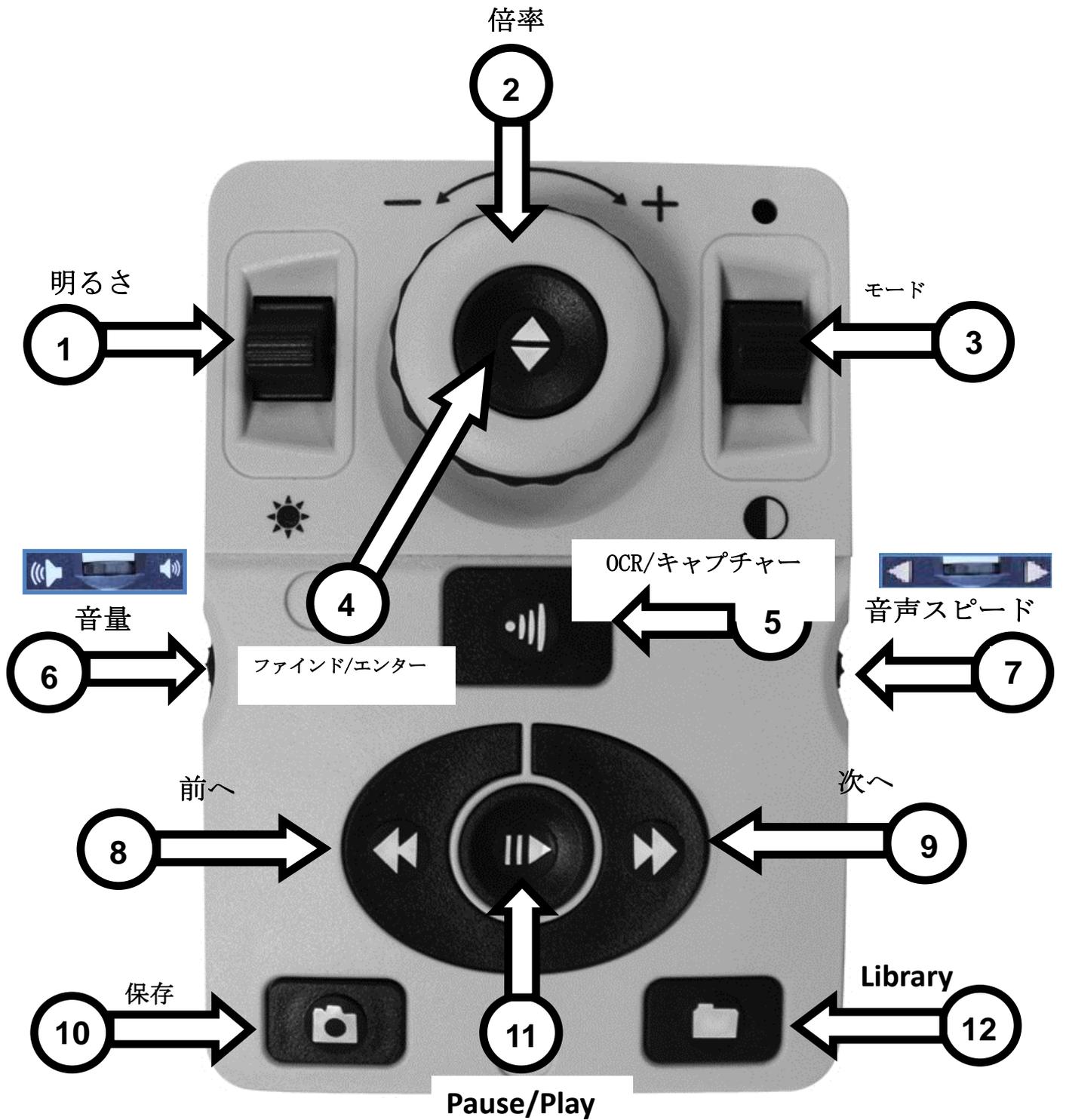
DaVinci Pro ベーシック OCR コントローラー



ベーシック コントローラーの説明

1. **キャプチャー** - OCR モード時にこのボタンを押すと画像が OCR 用に静止し、読み上げ始めます。もう一度押して OCR モードに戻ります。
2. **倍率ダイヤル** - 反/時計回りに回して倍率レベルを調節します。
3. **一時停止/再生** - 上下に押して OCR 読み上げを静止一時停止/再生
4. **カラーモード** - 上下に押してカラーカラーモードを変えます。
5. **音声スピード** - OCR モード時に、回して OCR 読み上げスピードを調節します。
6. **音量** - OCR モードで読書時、回してシステムの音量を調節します。

DaVinci Pro アドバンス OCR コントローラー



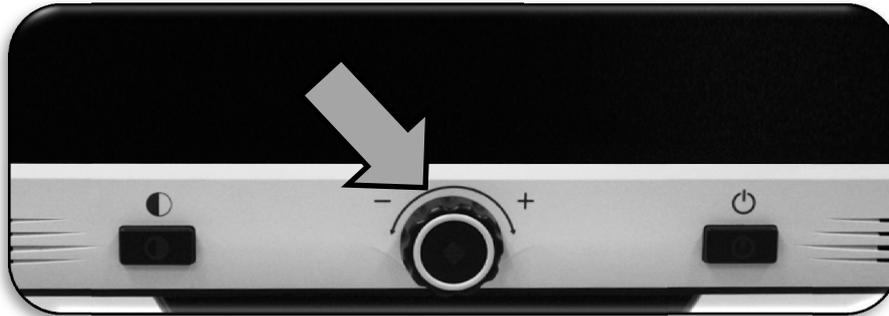
アドバンスコントローラーの説明

1. **明るさ** - OCR モード時 上下に押して明るさを調節します。
2. **倍率**- 反/ 時計回りに回して倍率を調節します。（ OCR 読み込み時のみ倍率可）
3. **モード** - モードを上下に押し動かして様々なカラーモードを選びます。
4. **ファインド/エンター** - OCR モード時、様々なメニュー(ライブラリー、システムメニュー含む)の中から 選べます。
5. **OCR/静止画像** - OCR 用の画像を静止させます。
もう一度押して元の OCR ガイドフレーム状態に戻ります。
6. **音量** - 読み上げ中の音量を調節します。
7. **音声スピード** - OCR モード時、スピードダイヤルを反/時計回り に回して OCR 読み上げの音声スピードを調節します。
8. **前の ライン又はゾーン (OCR モード時)** - 押して読書中の前のラインや前のゾーンにいきます。
9. **次のライン又はゾーン (OCR モード時)** - 読書中は、押して次のラインや次のゾーンに移ります。
10. **保存 (OCR モード時)** - OCR スキャン後 (一時停止時又は OCR プレイバック時) 2 秒長押ししてその OCR ファイルを保存します。 OCR ガイドフレームで写真を視聴時も同操作で画像を保存できます。
11. **Pause/Play** - OCR プレイバック時に一時停止、再生をします。
12. **Library**- 2 秒ライブラリーを長押しして ライブラリーの開閉をします。倍率ダイヤルを回してナビゲートします。ライブラリーキーを短く押して一段階づつ戻りながら、 ファインド/エンター キーで選んだ対象を確定します。

OCR/Text-To-Speech モード

OCR モード使用

下記のように DaVinci Pro はフロントパネルの中央でライブモードから OCR モードにスイッチできます。読み上げてほしい箇所全体を “ガイドフレーム (黄色枠)” 内において下さい。もしベーシックモード中ならすぐ読み上げ始めます。アドバンスモード中なら更に多くの機能が使えますが詳細はこの取説の後半に記されています。



OCR スキャン

DaVinci Pro はカメラの下に置かれた文書をスキャンし読み上げます。OCR/Text-to-Speech は DaVinci Pro のコントローラーが差し込まれた時に有効です。初めて OCR をお使いになる時は以下の手順に従って下さい。

1. フロントパネル中央を押して デバイスを OCR モードにします。
2. 文書を DaVinci Pro のカメラの下に置いてテキストがきちんと指示されたガイドフレームに入っていることを確認してください。
注-DaVinci Pro はカメラアーム下で見える文書であれば全てスキャンできます。
3. ベーシックモードは[ファインド/エンター] ボタンを押し、アドバンスモードのコントローラーの時は [キャプチャー] ボタンを押します。
カメラのシャッター音が聞こえたら、文書のスナップショットが撮れ、OCR の準備をしています。
4. 準備が終わったら DaVinci Pro は文書を読み上げ始めます。音量、カラーモード、読書スピード等を調節する事が出来ます。

もしベーシックモードならリードバック操作は自動的に始まります。アドバンスモードの時は“ゾーン”を共に選びます。それから再生を押します。ゾーンは 次へ 又は 前へ ボタンでハイライトします。

5. OCR/Text-to-speech モードを終了するときには、ベーシックモードなら [ファインド/エンター] ボタンを、アドバンスモードなら[キャプチャー] ボタンを押します。
6. OCR カメラモードに戻り、次の文書をスキャンできます。
7. これで初めてのスキャンは、終了です。設定を少し変更することも出来ます。(次ページ参照)



OCR 読込時 と Text-to-Speech (TTS) モード

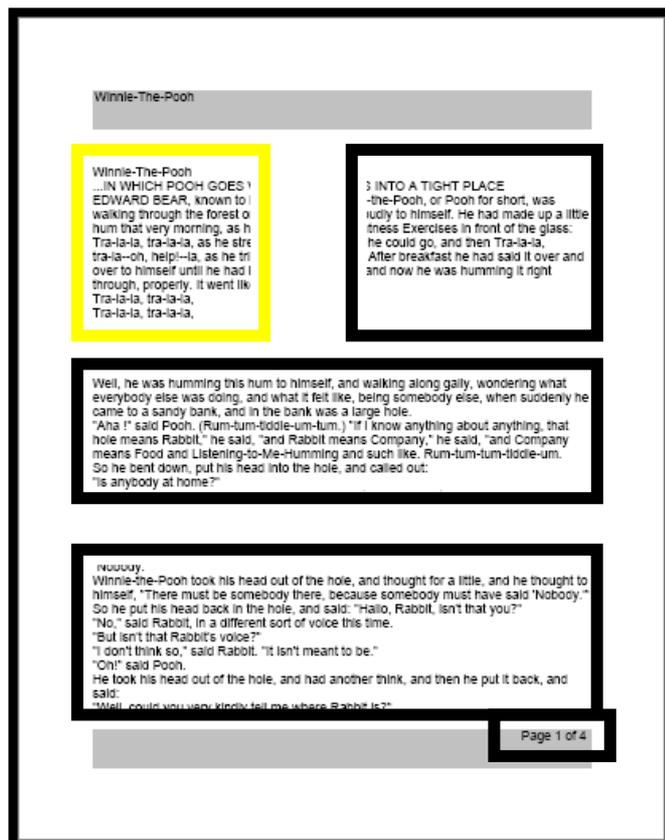
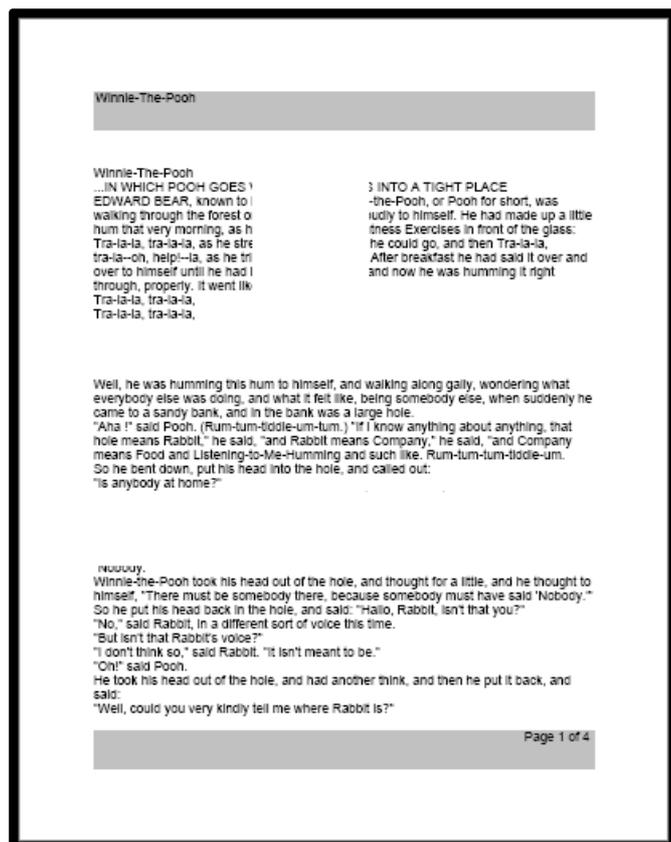
ベーシックページモード (ベーシックモードのみ)

コントローラーがベーシックモード時、ページはガイドフレーム内に現れた様に OCR 読込時に表示されます。ワードハイライトは現在読書中の位置表示され、全てのベーシック OCR ナビゲーション機能が有効です。[ファインド/エンター] キーを押して直ちにこのモードを終了し、OCR ガイドフレームに戻れます。

ゾーンモード (アドバンスモードのみ)

ゾーンモードは選択したゾーン (ボックスは初期設定で無効) ガイドフレーム内に現れた写真を表示します。これによって対象を違った“ゾーン”又はテキストの塊に分け、任意でハイライトやアドバンスコントローラーキーを使うことをナビゲート出来ます。

読み始めを選択できるので、OCR 読込時は自動的にこのモードを始動させません。任意の場所をハイライトしたら、プレイボタンを押して下さい。[キャプチャー] を押すといつでも OCR ガイドフレームに戻ります。



DaVinci Pro システムメニュー概要

システムメニュー

一旦 DaVinci Pro を設定、起動させたら任意で設定を変更する事が出来ます。ライブモード時、[モードアップ] と [ファインド/エンター] を押して DaVinci Pro システムメニューを開き、それから [倍率ダイヤル] を一つ一つ回して可能なオプションを一巡します。DaVinci Pro は アイテムを一つ一つアナウンスしていきます。コントローラー又はフロントパネルの [ファインド/エンター] ボタンを押して選択します。(ライブラリーはベーシックモードでは選択できませんのでご了承ください)。

以下のリストから選べます。

1. 紹介
2. ユーザー設定
3. 製品設定
4. 工場設定
5. ライブラリー
6. ヘルプ



紹介ビデオ

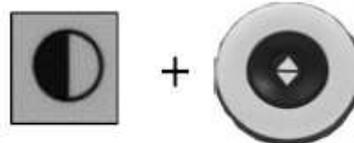
DaVinci Proは紹介ビデオが付いていて、全機能の概観を簡単に説明します。内蔵された説明を使って機能の使いこなす練習ができます。コントローラーを使って一時停止、再生、又はビデオを終了できます。メインメニューからビデオ再生するときは[ファインド/エンター]キーを押します。

注：英語での紹介です。



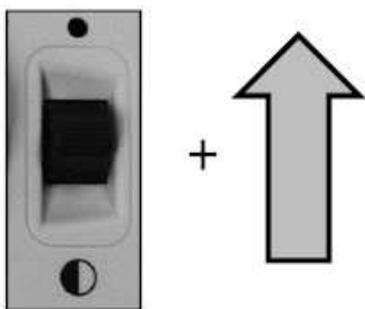
紹介ビデオを終了し メニューに戻る

[モード] アップ を長押しして [ファインド/エンター] を押して終了する



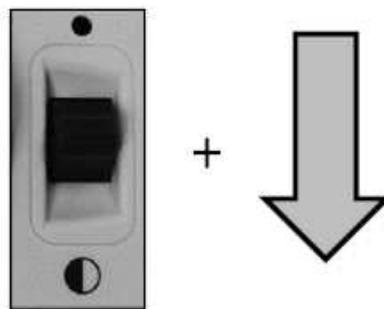
ビデオ一時停止

[モード] アップ でビデオプレイバックを一時停止



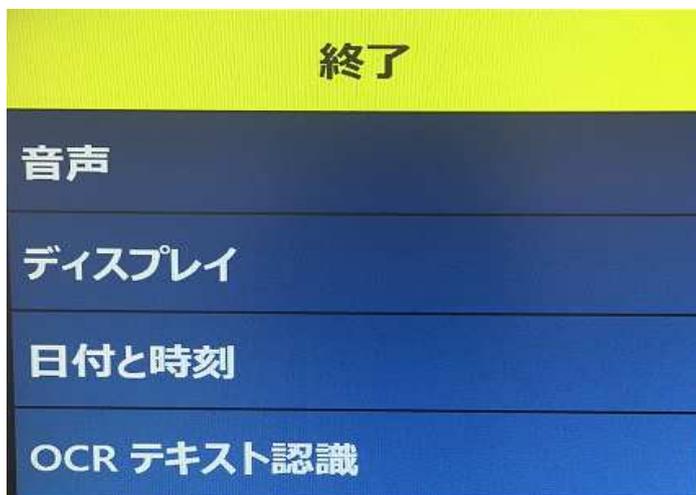
ビデオ再生

[モード] Down でビデオプレイバックを再生



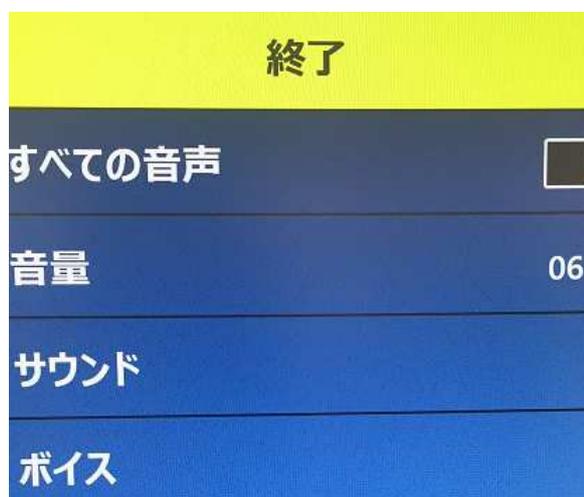
ユーザー設定

ユーザー設定メニューには全ての設定できるオプションは4つのサブメニューに分かれています。ファインド/エンター キーと倍率ダイヤルを使ってナビゲートし、選択します。



音声設定調節

音声サブメニューで音機能等設定できます。音機能には音と音声が入っています。音はハードウェアの機械音、ボタンのクリック音、チャイム音等 オーディオメニューは以下の4オプションです。



- 1) 全ての音声 (ON/OFF) – 全音と音声を素早く有効/無効にできます。これを選択すれば、全ての初期設定の音や音声の有効になります。選択していないときは、全音がオフになり、オーディオサブメニューオプションがグレーになって使えなくなります。
- 2) 音量 (1-10) – 全ての音声を初期設定の音量レベル (1 から 10) に設定します。コントローラーの音量ダイヤルで音量を調節します。オーディオフィードバックは Volume 1、Volume 2, 等です。音量ダイヤルの中心を押して初期設定の

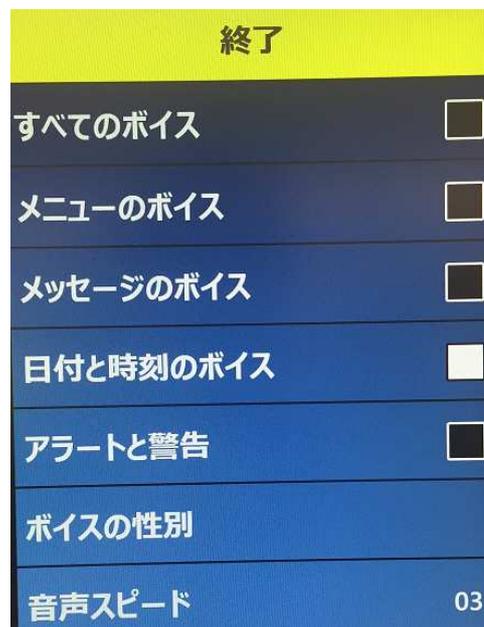
音量に戻ります。

- 3) サウンド – このサブメニューは次の 3 アイテムです。
 - a. 全すべてのサウンド(ON/OFF) – ボタンのクリック音と チャイムを付けたり消したりする。
 - b. ボタンクリック音 (ON/OFF) – ボタンのクリック音のみを付けたり消したりする。
 - c. チャイム音 (ON/OFF) – チャイム音のみを付けたり消したりする。



- 4) 音声 – 全ての音声、スピード等の設定できるオプションを 止めることができます。

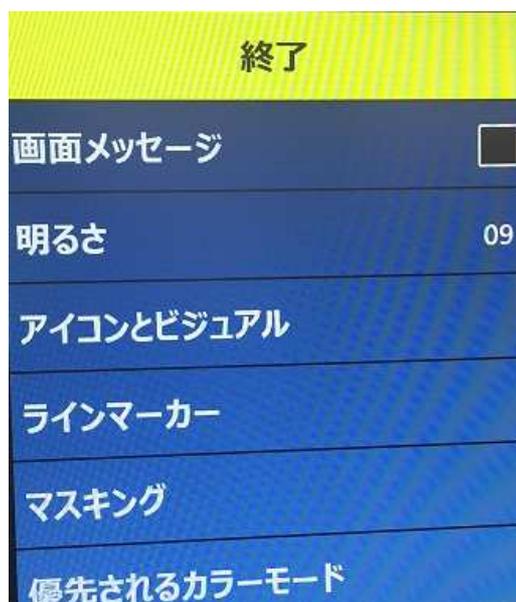
- a. すべてのボイス(ON/OFF) – システムの音声指示を有効/無効
- b. メニューのボイス (ON/OFF) – システムメニュー内の音声 指示を有効/無効
- c. メッセージのボイス (ON/OFF) – 表示される画面上の音声指示を有効/無効
- d. 日付と時刻のボイス (ON/OFF) – メニューを開いたときに現在日時をアナウンスするオプションです。
- e. アラートと警告 (ON/OFF) – 警告などの TTS メッセージと OCR メッセージ があります。
- f. ボイスの性別 (男性/女性) – 任意の言語・音声の性別が可能になっていれば、選択できます。もし可能なら選択できますがそうでない場合は一つだけ表示されます。
- g. 音声スピード(1-6) – 音声スピードを選べます。OCR 読込時時スピードダイアルの中心を押して初期設定に戻します。



表示機能

このメニューを使って任意の画面やビジュアル設定を選択できます。画面設定で DaVinci Pro の全てのグラフィカルユーザーインターフェイス、アイコン等を以下のオプションから制御できます。

- 1) **画面メッセージ(ON/OFF)** – システムやソフトウェアの状態、警告メッセージを表示します。点灯時は“点灯”又はファイルを保存した時には“保存中”、ダウンロード完了、工場出荷時の設定等です。任意で全てのメッセージを ON/OFF できます。
- 2) **明るさ (1-10)** – ディスプレイ等の明るさを任意で設定できます。
- 3) **アイコンとビジュアル** – 画面上のアイコンの有効/無効、例えば、ライト ON/OFF アイコン、又は プレビュー/ライブ又はフリーズモード時のアイコン等。
- 4) **ライン マーカーとマスキング** – 縦横のマスキング有効/無効。ライブモード時のより良い焦点のために使えます。
- 5) **優先されるカラーモード** – コントローラー又はデバイスのフロントパネルの[モード] キーを使って任意のカラーモードが選択できます。予めいくつかのカラーモードが設定されていますが任意で替えることができます。



日時設定

DaVinci Pro は 1 度設定した現在時刻、月日を覚えています。

現在時刻/月日設定:

- 1) コントローラーの [モードアップ] と [ファインド/エンター] ボタンを押してメニューを開きます。
- 2) 時計周りに [倍率ダイヤル] を回して 'ユーザー設定 → 日付と時刻をハイライトします'。
- 3) [ファインド/エンター] を押して '日付と時刻' サブメニューを選択します。
- 4) [倍率ダイヤル] を時計周りに回して '日付と時刻の設定' を選択します。
- 5) [ファインド/エンター] を押して '日付と時刻の設定' を選択します。



6) 反/時計周りに [倍率ダイヤル] を回して設定を変え、それから [ファインド/エンター] を押して日時、分等に進みます。

7) 5 と 6 を繰り返して正しい日時を設定します。

注: [モード アップ] を押していつでも時間設定を飛ばす事ができます。そしてすぐに他の時計機能にアクセスできます。

[倍率ダイヤル] を回しオプションをハイライトし [ファインド/エンター] を押します(トグル有効/無効)。

‘終了’ をハイライトして [ファインド/エンター] を押すと通常操作に戻ります。

オーディオ設定で有効になっていれば、DaVinci Pro は現在の時間をアナウンスします。

OCR テキスト認識設定

1) ガイドフレーム – OCR モード時の境の色です。OCR スキャン前にテキストの位置を助けます。

2) ゾーンの種類 – 文書のスキャンされたテキストは“ゾーン”と言うブロックごとに分けられています。

3) ゾーン 枠の色 – ゾーンの種類機能を決定します。

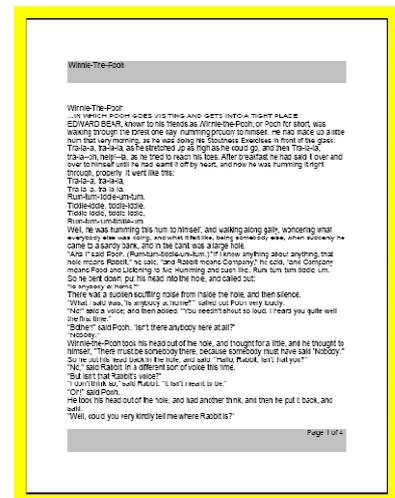
4) 読書ハイライト – これは OCR 読込時モードで現在読んでいる語の周りのゾーンの色です。

5) OCR の曲 – OCR スキャンの後起こる経過を表す音を決定します。3つのオプションから選びます。

6) OCR 属性 – OCR を最適にするタブです。“高性能”(高速プロセス時間)と“高精度”の2つから選べます。

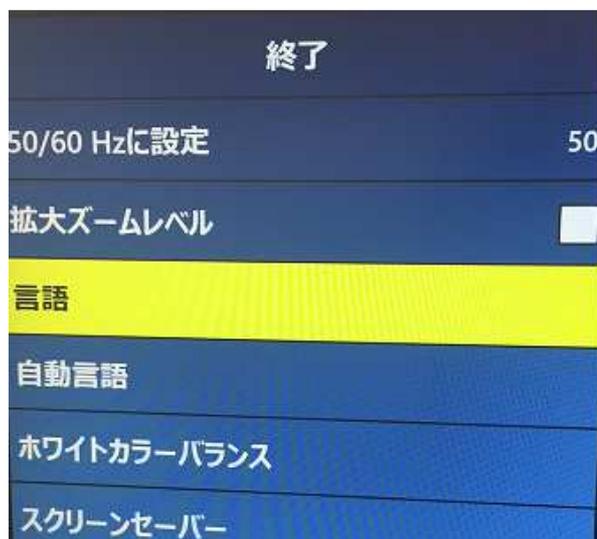
a. “高性能”方法を選択すると、良い OCR の結果を比較的素早く得られます。もし対象のものが通常フォントで複雑でない文書の場合はこの方法が最適です。

b. “高精度”を選ぶと、より正確な結果は得られますが上のモードと比べると時間も少しかかります。もし OCR スキャンの正確さ、また通常よりも小さいフォントで複雑な文書の時は 高精度を使う事をお勧めします。



製品設定

このメニューは様々な設定、スクリーンセーバー、倍率レベルなどを変えることができます。



システムを 50/60 Hz に設定

DaVinci Pro を使用する環境に合わせて周波数 を設定します。ライブ画像中に点滅に気付いたら 50 又は 60 ヘルツに調節してください。

拡大ズームレベル

倍率を拡張するオプションです。最大 77.0 倍まで拡大幅を増やし、その値が最大倍率となります。

言語 と自動言語の設定(初期設定 日本語)

このメニューで主言語を設定します。任意の言語で全てのテキスト、プロンプトが表示されます。言語を変える時は以下の手順に従って下さい。

1. ユーザー設定中、サブメニューを開き、コントローラーの “[モード アップ] と [ファインド/エンター]” を押してメニューを開きます。
3. [倍率ダイヤル] 時計回りに “言語” まで回します。

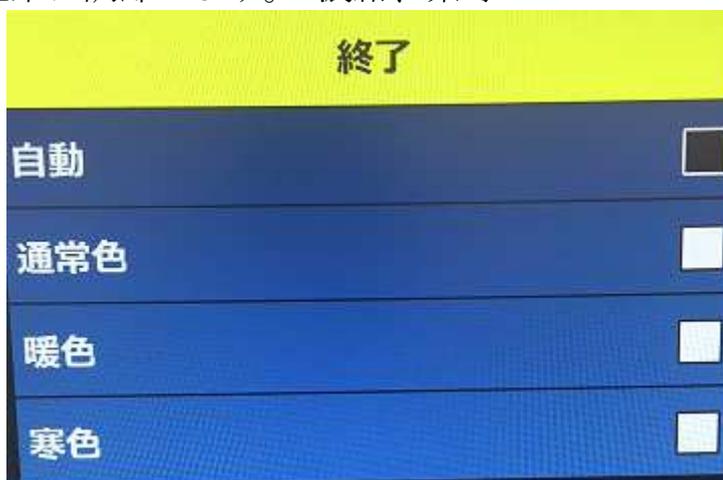


3. [ファインド/エンター] ボタンを押して “言語” サブメニューを選択します。
[倍率ダイヤル] で言語をハイライトし、[ファインド/エンター] ボタンを押してそれを選択します。オプション右のボックスが黒くなって ON になっていることを示しています。

ホワイトカラーバランス

このオプションは画像温度の設定と CCTV 画像のビューイングの特徴に作用します。
以下 4 つのオプションがあります。

- 自動 – 室内照明に合わせて自動調節します。
- 通常色 – 鮮やかな本当の色合いにします。
- 暖色 – 暖色系に調節します。濃い赤、黄色等
- 寒色 – 寒色系に調節します。濃紺、紫等



スクリーンセーバー

スクリーンセーバーサブメニューには 5 つのオプションがあります。スクリーンセーバーの時間や、どのスクリーンセーバーの種類等を決め、ある一定の時間デバイスが使用されない時にスクリーンセーバーが現れるようになります。

スクリーンセーバーの時間設定 - どのくらいの時間使用されていない時にスクリーンセーバーモードに入るのか設定出来ます。オプションは、5、10、20、30 分です。

オフ - スクリーンセーバーモードをオフにして、なんの画像も表示されません。

会社のロゴ - エンハンスドビジョンのロゴがスクリーンセーバーとして表示/非表示されます。

画像 - 保存された写真をスクリーンセーバーとして一巡させる事を有効/無効にします。

デフォルト - 高画質の画像で既にスクリーンセイバーとして選ばれているものを有効/無効にします。

時計 - 時間を表示します。

工場出荷時の設定

この設定はシステム情報をチェックしたり、工場出荷時の設定に戻すオプションがあります。

製品情報

このサブメニューにはソフトウェアのバージョン、言語グループ、製品番号等重要な情報が入っています。



工場出荷時の設定を復元

カスタマイズした全ての設定を工場出荷時の初期設定に戻すオプションです。ます。

*保存済みの画像、ページ、本はこの動作では消去されません。

ライブラリーメニュー

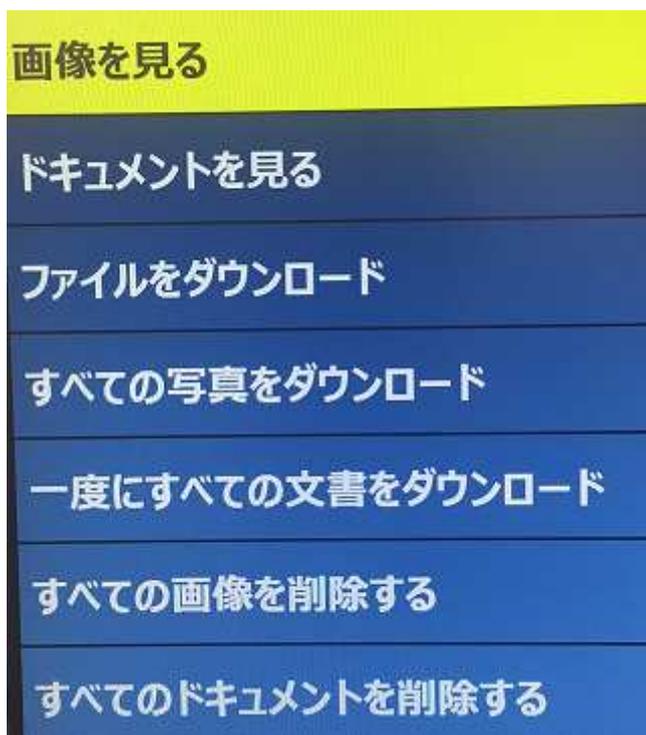
保存した写真、ページ、本等をライブラリー機能に収納できます。アドバンスコントローラーの“ライブラリー” ボタンを押して、システムメニュー、ライブモード、又はOCRモードからライブラリーを開きます。アイテムは写真又は文書としてライブラリーに保存されます。



写真 – OCRモード時に“保存”ボタンを推して保存します。

ページ – OCR 読込時モード時 セーブキーを押して保存します。

本 – OCR 読込時モード時に保存キーを押してアイテムを本として保存します。もしもっとそのページを追加したい時は“**Yes**”を表す緑のチェックマークを選び、その必要がない時は“**No**”を表す赤 X を選びます。



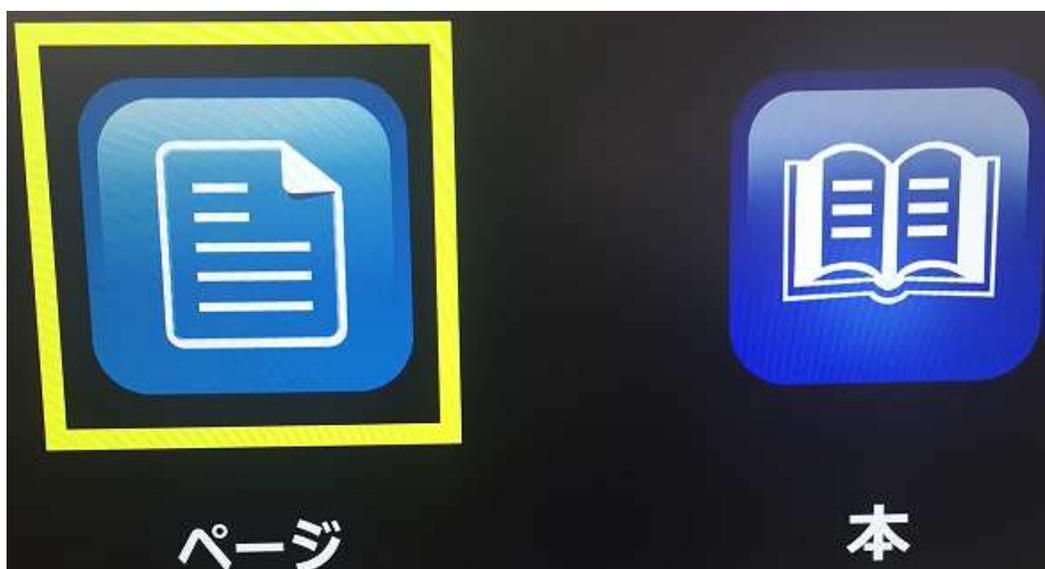
ライブラリーサブメニュー

ライブラリーメニューからサブメニュー: 写真と文書を開けます。“画像”を選択すると表示リストが現れ、“ドキュメント”を選択するとページと本のサブメニューがひらきます。



文書サブメニュー

文書のタブは更にページ（単ページ文書）と本（多ページ文書）に分けられています。



ライブラリー機能の詳細

表示リストをナビゲートする

ライブラリーから“Display List”を開いて本、ページ又は写真のプレビューをみます。[Next Line] 又は [Previous Line] を使って保存済みの文書を一巡します。次、前ラインのプレビューが違うオプションの間をナビゲートしていく間に変わっていくことに気がつきます。[ファインド/エンター] を押して選択し、本と文書の場合はOCR 読込時へ、写真の場合はピクチャーカラーモードへ進みます。

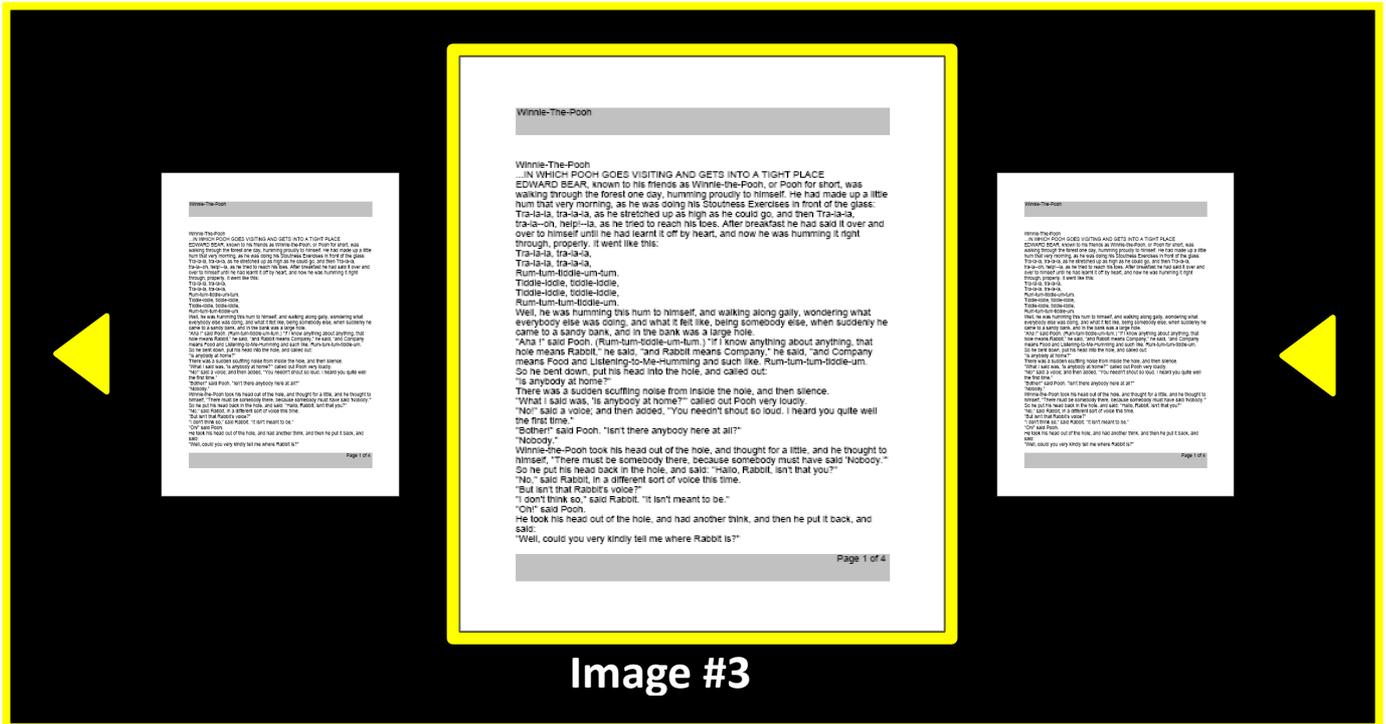


Image #3

表示リストから1つ消去する

ライブラリー表示リスト又は保存した画像を視聴中は素早くコントローラーの右側ダイヤルを押します。ゴミ箱アイコンが出てきて画像が消去されたことを表示します。

リモコンショートカットで画像を削除する

ライブラリーメニューで右側面のダイヤルを押す



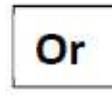
コントローラー右側面

本をナビゲートする（次、前ページへ）

以下のショートカットを使って本の全てのページをナビゲートします。【ポーズ/プレイ】ボタンを長押しし、それから【Next】ボタンを押して、1ページ先に、又は、【次へ】ボタンを押して1ページ前に戻ります。

リモコンショートカットで次/前のページへ

【ポーズ/プレイ】を長押しして
【Next】又は【次へ】を押す



写真カラーモード

同じカラーモードと倍率のオプションが全て 保存済みの画像の視野を調節できる移動カーソルを足したピクチャーカラーモードで見れます。以下の様にコントローラーのサイドスクロールダイヤルを使います。左側スクロールダイヤルが視野を左右に動かします。右側スクロールダイヤルが視野を上下に動かします。

サイドダイヤルを使って拡大画像を移動させる：



ファイルを USB ドライブに保存/ダウンロード

DaVinci Pro は USB ドライブにファイルや文書をダウンロード出来ます。空いた USB ポートに USB Flash ドライブを接続しておいて下さい。以下の 3 つの方法でファイルをダウンロードできます。

ファイルをダウンロード – 任意のファイルを一つずつダウンロードする

1. 次の順でファイルをダウンロードします。メニュー → ライブラリー → ダウンロード ファイルを開きます。
2. ライブラリーメニューと表示リストが 現れます。
3. [保存] ボタンを最低 2 秒間は長押しして下さい。
4. 保存アイコンが現れ画像が保存された事を示します。

すべての写真をダウンロード – 自動的に全保存画像をダウンロードする

1. 次の順で全ての写真をダウンロードします。メニュー → ライブラリー → すべての写真をダウンロード。
2. 保存アイコンが現れ画像をダウンロードしていることを表示します。
3. 完了チャイムが鳴ると安全にデバイスを取り外せます。

一度にすべての文書をダウンロード – 自動的に全ての保存された文書(ページと本)をダウンロードします。

1. 次の順で全文書をダウンロードします。メニュー → ライブラリー → 拡張子を選ぶ (.TXT .RTF .JPG .PDF .DOC)
2. 保存アイコンが現れ全画像をダウンロードしていることを表示します。
3. 完了チャイムが鳴り、ドライブが安全に取り外せます。



画像消去

DaVinci Pro は収容したファイルや文書を消去できます。

以下 3 つの方法でファイルを消去します。

1 ファイル消去 – 1 つファイルを消去します。

1. ライブラリーの画像を見ている時にその画像を一つ一つ消去できます。
2. 右側のスクロールダイヤルを押し入れます。
3. 消去アイコンが現れ画像が消去された事を示します。

全写真消去– 全保存画像を消去します。

1. 次の順で全画像を消去します。メニュー → ライブラリー →
すべての画像を削除
2. 消去アイコンが現れ全画像を消去していることを示しています。
3. 完了チャイムが鳴って消去されたことを示します。

全文書消去 – 全保存文書を消去します (ページと本)

1. 次の手順で全文書を消去します。メニュー → ライブラリー →
全てのドキュメントを削除
2. 消去アイコンが現れ、画像が消去されていることを表示します。
3. 文書が完全に消去されたらチャイムが鳴ります。



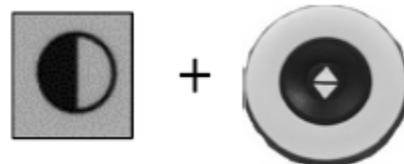
ヘルプメニュー

ヘルプメニューにはDaVinci Proの機能に有効なショートカットのリスト等があります。クイックスタートはすぐにお使いできるようにに十分な情報を提供しています。このメニューを終了するショートカットは以下の通りですが、フロントパネルの“OCR切り替え” ボタンを押していつでも終了出来ます。コントローラーの [ファインド/エンター] キーを押してこのオプションを実行します。



ヘルプメニューを終了する

リモコンの [モード] アップ を長押しして [ファインド/エンター] を押します



電力状態

長持ちさせるために確実にシャットダウンするまで DaVinci Pro の電源は切らないでください。メッセージはシャットダウン中約 10 秒間表れます。

スタンバイ

DaVinci Pro は使用していない時スリープに入ります。電気も節約できるし、完全なシャットダウンよりも早く通常操作に戻る事ができます。以下の手順でスタンバイ状態にしてください。

- 1.電源ボタン (DaVinci Pro のフロントパネルにあります)を確認します。
- 2.このボタンを 5 秒以内で押します。(5 秒以上押すとシャットダウンされます)
- 3.消える前に 画面は薄暗くなり、フロントパネル インジケータライトが数回点滅します。
- 4.電源ボタンを押して 再び始めます。
- 5.注意: 長持ちさせるために確実にスタンバイ、又はシャットダウンするまで DaVinci Pro の電源は切らないでください。
- 6.スタンバイからデバイスが使用できるまで約 15 秒かかります。

シャットダウン

DaVinci Pro を使用しない時、電力節約の為に、スタンバイよりは再スタートはかかります。シャットダウンしたい際は以下の手順に従って下さい。

1. 電源ボタン (DaVinci Pro のフロントパネルにあります)を確認します。
2. 5 秒間このボタンを長押ししてシャットダウンさせます。
3. シャットダウンの過程に入った事を告げる メッセージが表示されます。全てのステータス LED ライトと、メッセージが消えるまで DaVinci Pro を電源から離さないで下さい。
4. 注意: 長持ちさせるために確実にシャットダウンするまで DaVinci Pro の電源は切らないでください。

トラブルシューティング

DaVinci Pro の電源が入らない

- ・ DaVinci Pro が安全に電源に差し込まれていることを確認してください。

画像の焦点が合わない/OCR の結果が良くない。

- ・ ダヴィンチカメラの LED ランプがオンであることを確認してください。
- ・ 周囲の明かりが充分でより良い画像を作ることを確認して下さい。
- ・ 指紋や汚れが クローズアップレンズについていないことを確認してください。

文書のテキスト変換から読み上げに時間がかかる。

電源ボタンを押して下さい。もしそれに反応しない時は電源ボタンを 5 秒以上長押ししてシャットダウンして下さい。

LEDランプ

DaVinci Proは、数年の無故障のサービスを提供するようにデザインされたLEDランプが付いています。しかし、万が一問題が発生したときには輸入代理店である「日本テレソフト」までご連絡下さい。（TEL：03-3264-0800）

Firmware update

下記からアップデートを行えます。

<http://www.enhancedvision.com/suport/software.html>

内容が英語ですので、わからない場合には輸入代理店である「日本テレソフト」までご連絡下さい。（TEL：03-3264-0800）

仕様書

大きさ

- ・ 24" : 22.25" H x 22.75" W x 19.75" D (65.1cm H × 57.8cm W × 50.2cm D)

カメラ

- ・ 高画質ソニー 1080p フル HD カメラ

重量:

- ・ 21.4 lbs (9.7 Kg)

倍率幅

- ・ 通常時: 2.0x – 36.6x
- ・ 拡張時: 2.0x – 77.0x

パワーサプライ

- ・ 入力電圧/電流: 120-240 VAC / 0.3-0.5A (nominal)
- ・ 出力電圧: 19 VDC
- ・ 周波数: 50 OR 60 Hz
- ・ 用力:
 - ON で 30W の時
 - Standby で Less than 5W 以下の時
 - OFF で 1W 以下の時

装置分類 (IEC 601-1):

- ・ 保護タイプ: Class 1
- ・ 保護程度: Type B
- ・ 操作モード: 連続的
- ・ 操作温度幅 : 0-40°C / 32-104°F
- ・ 保存/輸送温度幅 : 0-60°C / 32-140°F

保証: 2 年

*製品仕様は予告なく変わることがあります。

OCR 保存容量

- ・OCR スキャンのファイルサイズはテキストの密度によります。最低 1000 枚のフルページスキャンを DaVinci Pro に保存できます。

保証規定 と 契約情報

保証規定

Enhanced Vision 社の製品は、高い品質の画像、便利な機能、簡単な操作、信頼性のあるサービスを提供しております。

- DaVinci Pro は、出荷前に品質検査とテストを行っております。
- (株)日本テレソフトは、正常な状態で使用したと認められたときに故障が発生した際は購入日から2年間の保証をします。
- 故障の場合、無料修理又は交換を行うか有償修理にするかは(株)日本テレソフトが判断致します。

ただし以下のことは保証外になります。

1. 使用上の誤り、落下などの事故などによる故障
2. 不当な修理や改造による故障および損傷
3. 食べ物や飲み物などの液体をこぼしたことによる故障
4. 通常の使用により生じる DaVinci Pro 本体表面など外側にできる傷
5. (株)日本テレソフトが提供した以外の機器を使って操作した場合による故障
6. 火災、地震、水害、その他の天災地変。公害や異常電圧による故障及び損傷

注意：保証サービスを受けるために、購入日、保証書を必ず保管してください。